

番号	都市との共生による新たな「農村地域」創出事業					
担当部署	経済産業部	農政課	担当者	阿藤・松本	連絡先	448
目的	都市近郊の立地性と豊かな自然環境が共存する地域特性を活かした、「農業と観光の融合による体験のまち」を実現させるために、「地域内ネットワークの形成」、「地域コンテンツの作成」、「情報発信」、「推進体制の構築」に関する各種取り組みを実施し、手賀沼周辺地域全体を活性化させることを目的とする。					
経費概要	・委託料24,991,200円(手賀沼アグリビジネスパーク事業戦略プラン推進委託) ・委託料24,985,800円(手賀沼周辺地域交流促進事業)		交付事業に要する経費	49,977,000		
			基準値	目標値		
(16) ページ	手賀沼・東部地域流動人口		661,300	760,000		
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値	達成度(%)	
	指標①	道の駅しょうなんの経済効果	595,275千円	551,609千円	92.66	
	指標②	地域交流拠点の来場者数	1,180千人	1,082千人	91.69	
	指標③	農業後継者世帯数(沼南支所管内)	153世帯	165世帯	107.84	
	指標④	道の駅しょうなん農産物直売所会員の平均売上げ高	5,100千円	4,755千円	93.23%	
事業効果(自己評価)	○ ①地方創生に非常に効果的であった					
	○ ②地方創生に相当程度効果があった					
	○ ③地方創生に効果があった					
	○ ④地方創生に効果がなかった					
事業概要(進捗)	【時系列で記入】 平成29年6月 手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会と「手賀沼周辺地域交流促進事業」契約 平成29年6月～平成30年3月 シャトルバスの運行(原則土日祝日:道の駅⇄柏駅)、コンシェルジュ配置 平成29年6月 同協議会と「手賀沼アグリビジネスパーク事業戦略プラン推進委託」契約 平成29年7月～平成30年3月 納涼船(夏休み期間)・大型遊覧船の運行(夏・春休み期間を中心とした原則土日祝日) 平成29年8月～ 協議会ホームページ立上げ 平成29年10月～平成30年2月 道の駅での体験企画(落花生収穫体験、烏ビシャ作り体験、レンタサイクル史跡めぐり) 平成29年11月～ 協議会FB立上げ 平成29年11月～平成30年3月 手賀沼フルベジツーツーリズム(「収穫体験+ピザ作り体験他」「いちご狩り+選べる体験」) 平成29年11月～ 「手賀沼だより」発行(1回/月) 平成30年3月 「手賀沼ライフブック」発行。					
成果	柏駅からの無料シャトルバス(5100人利用)を運行し、手賀地域への誘導を行うとともに、遊覧船については大型・小型観光船(947人利用)を検証し、特に小型船については自走可能なコンテンツとして持続可能な成果が得られた。 また、地域資源を活用した各種体験プログラムを打ち出すとともに、それらを組み合わせたツアーなども実施し、体験プログラムづくりとその運用、商品としての価値や改善点に関する検証を行った。 情報発信として、ホームページやFB等の他、大規模商業施設「セブンパークアリオ柏」内に、コンシェルジュを配置し、手賀沼地域、市内の観光、イベントやスタンプラリーの案内等を行った(計6,166件)。さらに、地域への情報提供及び理解と協力を得ることを重要と考え、手賀沼周辺(我孫子市側も含む)のイベント情報をまとめた「手賀沼だより」や、手賀沼地域で活動している人と取り組みをその想いととも紹介する「手賀沼ライフブック」を制作し、手賀地域全戸回覧により事業の周知を図った。 それらに加え、マーケティングに関する調査を行うとともに、DMO設立に向けた整理を行った。					
その他特記事項	平成29年度より「農村漁村振興交付金(農泊推進関連対策)」を用いて、地域資源を活用した体験プログラムづくりと地域人材の育成、さらにキャンプや農家民泊等、宿泊できる環境づくりを進めており、地方創生に向けた相乗効果が期待できる。 また平成29年度は、手賀沼フィッシングセンターの再整備、鷲野谷農業交流拠点の整備を行い、道の駅しょうなん拡張事業とともに、地域拠点の整備が着実に進んでいる。					
柏市地方創生総合戦略評価委員会による評価						
KPIについて			意見			
①総合戦略のKPI達成に有効であった						
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない						